

ブラジル・ポルトガル語情報

以下は、ブラジルやポルトガル語に関する情報です。授業づくりの参考にしてください。

関連課	内容
1課	《ブラジルの国旗》 ブラジルの国旗は中心に青い地球が描かれて、そこには星がちりばめられています。これは、ブラジルが共和国となった1889年11月15日夜8:30のリオデジャネイロの夜空の星座を表したものです。真ん中に書かれているのは、共和国が目指す「秩序と進歩」という言葉です。
2課	《ブラジルの花》 ブラジルでは、春（9月）になると、黄色のイペーの花がいっせいに咲きます。ちょうど日本の桜のように、春に咲く代表的な花です。
3課	《兄妹の数え方》 日本語では「兄弟は5人」と言えば、自分を含めて5人ですが、ポルトガル語では、英語と同じで、「兄弟は5人」と言えば、自分の他に5人いるということです。
6課	《早口言葉》 日本語の早口言葉に「生麦生米生卵」がありますが、ブラジルには例えば、「Um prato de trigo para um tigre triste, dois pratos de trigo para dois tigres tristes.....」（1匹の悲しいトラのための1杯の小麦粉、2匹の悲しいトラのための2杯の小麦粉．．．）等、ほかにもたくさんあるそうです。
8課	《マンゴーの木》 日本では桜の木が多いですが、ブラジルではマンゴーの木がとても多いです。街路樹としても植えられていて、あちこちで葉っぱのかげにマンゴーの実を見つけることができます。
9課	《ブラジルの首都》 サルバドールは、最初にブラジルの首都がおかれた古い町です。その後、首都はリオデジャネイロに移りましたが、1960年に再びブラジリアへ遷都されました。新しい首都ブラジリアは、ブラジルの建築家オスカーニーマイヤーが設計した超モダン都市です。
10課	《心》 日本では「心」は精神的なものですが、ブラジルの「coração（コラサウン）」は心の意味も、心臓の意味もあります。
11課	《北と南》 日本人は、北は寒い、南は暖かいというイメージでとらえますが、ブラジル人は北は赤道に近い暑いところ、南は雪も降る寒いところというイメージでとらえます。
13課	《話し好きな人々》 ブラジルの人たちは、ほんとうに話し好きです。1,2時間の立ち話は、めずらしくありません。近所の家同士も、よく訪問しあいます。いつも楽しい話し声に包まれている社会です。
15課	《世界地図》 世界地図はどここの国でも自国の位置が中心になっています。アメリカはアメリカ大陸が中心に据えられています。英連邦は英国のグリニッチが中心です。ブラジルの世界地図はヨーロッパのものに近いです。
23課	《バナナ》 ブラジルは、世界有数のバナナ生産国ですが、ほとんど輸出されていません。そのまま食べたり、料理に使ったりして国内で消費されます。
27課	《ブラジルの市場「フェイラ」》 ブラジルでは町のあちこちで、曜日を決めて、feira（フェイラ）とよばれる青空市が開かれます。肉や野菜など、主に食料品が売られています。売り手も買い手も会話を楽しみながら商売します。
32課	《商業都市サンパウロ》 ブラジルの首都はブラジリアですが、経済の中心はサンパウロです。サンパウロの人口は東京と同じくらいです。東京と同じようにたくさんの人が電車、バス車などで通勤します。